

志賀原発の審査申請

市民グループ

北電へ抗議文

8/14朝日



北陸電力本店を訪れ、対応した北電社員に抗議文を読み上げる市民グループ＝富山市牛島町

北陸電力が、志賀原発（石川県志賀町）の敷地内の活断層の有無について原子力規制委員会の結論が出る前に、再稼働の前提となる審査を申請したことをめぐり、反原発を訴える市民

グループが13日、富山市の北電本店を訪れ、申請撤回を求める抗議文を提出した。グループ側は審査の申請について「住民を無視しており、規制委の存在も軽んじている」と批判した。

抗議文を出したのは「富山県平和運動センター」など3団体。

北電は12日、志賀原発2号機について、原発の新規制基準に適合しているかどうかの審査を規制委に申請。「新基準に適合していると規制委に確認してもらうことが、地域の安心材料になる」と説明した。

北電本店を訪れた3団体のメンバーらはこの点に触れ、「活断層問題の結論が出ていないなかで申請する方が、よほど不安だ」などと抗議。対応した北電社員は「抗議内容は上層部に伝える」と応じた。（青池学）

志賀安全審査申請撤回を求め抗議文

北電に3団体提出

8/14北平

北陸電力が志賀原発2号機（石川県志賀町）の再稼働に向け、新規制基準に基づき安全審査を原子力規制

～NO NUKES DAY
「さようなら原発★全国集会&大行進」

9月23日(火)
代々木公園 (富山よりバス2台で参加)



委員会に申請したことを受け、反原発を訴える3団体

志賀原発の安全審査申請で北電に抗議文

市民グループ3団体

命のネットワーク、県平和運動センター、反原発市民の

会・富山の3団体は13日、北陸電力に対し、北電が12日に志賀原発2号機（石川県志賀町）の安全審査を原子力規制委員会に申請したことに抗議する申し入れを行った。

3団体は、活動性が指摘されている断層問題が決着していない中で申請に關し「規制委を軽んじ、住民を無視した暴挙」と主張。その上で「安全審査の申請を撤回し、志賀1、2号機の即時廃炉を求め」とした。

申し入れでは、約10人が北電本店（富山市牛島町）を訪れ、北電の担当者に抗議文を手渡した。

が十三日、久和進社長宛ての緊急抗議文を富山市牛島町の北陸電力本店で提出した。

連名で抗議したのは、県平和運動センター、命のネットワーク、反原発市民の会・富山の3団体。抗議文

18(月) 志賀原発訴訟原告団会議(15:00)



では、「不要な原発を無理やり動かすことは無駄」として、安全審査の申請撤回と志賀原発1、2号機の即時廃炉を求めた。

本店では、県平和運動センターの山崎彰議長、写真②が、エネルギー広報チームの酒井秀行副議長に抗議文を手渡し、「(立地県の)石川県と富山県では対応に差があると感じる。抗議文が出されたことを重く受け止めてほしい」と訴えた。酒井副議長は「安全性について規制委に見てもらったことが非常に重要」と回答した。（広田和也）